

学術講演会報告

弘前大学附属図書館主催学術講演会

第3回 平成18年11月9日(木) 16時～

第4回 平成19年11月8日(木) 16時～

弘前大学附属図書館では、平成18年11月9日(木)、弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールにおいて学術講演会を開催しました。講演会は、地域社会への貢献を期して、平成16年度の法人化以降毎年度開催されています。

第3回となる平成18年度は、地元青森市ご出身で気候学がご専門の^{まえじまいくお}前島郁雄氏(東京都立大学名誉教授)を講師にお迎えして、「江戸時代は小氷期だったー弘前藩庁日記の天気記録は語るー」と題した講演が行なわれました。

講演では、1660年代から約200年間、弘前と江戸で書き継がれた弘前藩庁日記の毎日の天気記録について解説され、科学的観測がなされていなかった時代の史料を読み解き、近代気候学の方法と知識を用いて当時の気候を再現し、同時代の世界の気候と比較するなど、前島氏の研究の一端が紹介されました。



前島氏は講演のなかで、「日本における近世の気候変動の実相を明らかにし世界に発信できた



のは、弘前藩庁日記の存在ゆえであり、弘前大学がモットーとする『世界に発信し、地域と共に創造する』ことに重なる」と語り、長年書き継がれた貴重な資料を後世に伝え残すことの重要性を強調され、「まさに『継続は力なり』、この津軽人の心意気を弘前の街づくりや大学の活性化にも活かしてほしい」と弘前大学へのエールを送って下さいました。

また、弘前大学の前身である旧制弘前高等学校の同窓会長を務める前島氏は、講演に先立ち、総合文化祭の企画展として附属図書館で開催されていた「旧制弘前高等学校資料」展示会場を訪れ、教卓や学生新聞等に見入り、往時を追懐され

ていました。

第4回学術講演会は、平成19年11月8日、広島大学大学院文学研究科の河西英通^{かわにしひでみち}教授を講師にお迎えし、『『東北』への道』を演題として行なわれました。

河西教授は弘前大学人文学部ご出身で専門は日本近現代史、青森県史専門委員などを務められるなど、本学をご卒業後も本県および本学との繋がりが深くお有りです。

講演ではご自身の著書「東北一つくられた異境」、「続・東北―異境と原境のあいだ」などを参考に、日本史における東北の位置付けの変遷を紹介し、東北が未開地や異境といったイメージとなったのは、歴史を国家や国民といった単位で捉えることに限界があったからではないか、と語られました。また、東北を地名としてではなく、地域思想・意識として位置付ける立場に立ち、世界に向き合う立脚点としての「東北」を提唱されました。

講演の最後には、弘前大学国史研究会の研究業績を紹介しながら、その土地・土地の大学にある日本史を学ぶ同窓の力をもって、その地域に根差した新しい視点をもった日本史を作り上げていくことが必要であると力説され、地域から発信する「自立した歴史」学を共に目指しましょう、との言葉を本学へのメッセージとしてお送りくださいました。

附属図書館では、毎回講演会開催時にアンケートを行なっていますが、今後もこのような講演会を継続して開催してほしいとの声が多く寄せられています。また、図書館業務に関するご意見・ご要望もいただいております。附属図書館では、このアンケートでいただいた忌憚のないご意見を日々の業務に活かして、これからも利用者の皆様方のご期待に添えるよう、努力してまいります。

なお、附属図書館では、第1回（平成16年度）以降毎回学術講演会の模様を録画し、DVDとして所蔵しております。館内（禁帯出：視聴覚室にて閲覧可）にてご視聴いただくことができますので、ぜひご利用ください。

（企画管理担当 橋本美佐子、 乗田優雅）



第48回特定非営利活動法人

日本医学図書館協会東北地区総会

標記総会は、平成19年10月19日（金）、弘前大学附属図書館医学部分館を当番館として弘前大学医学部コミュニケーションセンターを会場に加盟館7大学から館長（分館長）及び主任司書12名が参加して開催されました。

議事に先立ち蔵田分館長から開会挨拶があり、会則に基づき議長に当番館の蔵田分館長が選出され、出席者の自己紹介の後、議事に入りました。

報告事項、協議事項、承合事項等は以下のとおりです。

報告事項：①平成18年度東北地区会運営費収支報告 ②NPO法人日本医学図書館協会評議員会報告 ③各館の近況報告

協議事項：①第16回（H21）基礎研修会の実行委員長（開催館）及び実行委員の選出について ②第79回NPO法人日本医学図書館協会総会における東北地区からの提出議題について ③NPO法人日本医学図書館協会理事・監事候補者の推薦について ④NPO法人日本医学図書館協会次期地区評議員（館）の選出について ⑤次期当番館について

承合事項：①寄贈図書を受入について ②研究費で購入している外国雑誌の扱いについて

特に各館の近況報告では、電子ジャーナルパッケージの維持経費を確保するための方策について全学共通経費からの負担状況及びパッケージで利用可能な雑誌のprint版の中止状況や蔵書点検、開館時間の延長、図書館電算システム更新等について活発な意見交換が行われました。

また、第16回（H21）基礎研修会の実行委員長（開催館）に東北大学附属図書館医学分館を選出、次期評議員（館）に秋田大学附属図書館医学部分館を選出、次期当番館については青森県立保健大学附属図書館を決定し、会議を終了しました。



（医学部分館長 蔵田潔， 医学情報グループ 對馬芙由子）

総合文化祭報告

平成19年度総合文化祭

「古本もってけ市」 & 「DVD上映会」

平成19年度弘前大学総合文化祭が10月26日（金）～28日（日）に行われ、附属図書館では「古本もってけ市」と「DVD上映会」を企画しました。古本もってけ市では、図書館で不用となった図書を好きなだけ自由に持っていってもらおう（無料）という試みで、図書館1階玄関前で開きました。初日の準備段階から続々と人が集まり、3日間とも大盛況となりました。最初予定していた1,400冊に、途中で本を追加し、最終的には合計1,500冊程度引き取られました。小学生の子供達までやってきて「これ、タダで持って行っていいの？わーい、ラッキー！」とバッグに詰め込んでいて、果たして子供達に読めるだろうか…と余計な心配までしてしまったほどです。これだけ皆さんに喜んでもらえて、廃棄費用もかからないとなると、図書館にとってはありがたい限りです。今後も恒例化していきたいと思っております。

またDVD上映会では、青森県出身の映画監督五十嵐匠氏の作品3本（「HAZAN」「Sawada」「みすゞ」）を日替わりで上映しました。諸々の事情から、図書館入口からだいぶ離れた場所が上映会場となってしまいましたが、それでもたくさんの方々が観に来てくださいました。来年の文化祭でも何か面白い企画をやりたいと思いますので、是非ご来館ください。

（参考調査担当 長谷川友紀）

